



ネットワーク多摩広報誌

network TAMA

2017

7
月号

< 第7号 >

高校生に夢へ羽ばたく翼を授ける教育したい 「G(irls)20サミット2017」で移民女性支援策を提言

中村茜さん 創価大学法学部3年

ドイツのミュンヘンで、6月17日から22日まで開催された国際女性会議「G(irls)20サミット2017」。このサミットは、ビル・クリントン元アメリカ大統領が設立した「クリントン・グローバル・イニシアチブ」が次世代の女性リーダー育成を目的に立ち上げた国際女性会議。G20加盟国を中心に18~23歳の女性から各国1名が代表として選ばれる。世界から1万人を超える申し込みがあり、今年は22カ国・地域の代表が参加した。私（創価大学法学部3年、中村茜）は、日本を代表してこのサミットに臨んだ。毎年G20首脳会議の開催国で実施されており、今回で8回目。



左：各国の代表メンバーと 右：代表全員のサインが入った共同声明文を持つ中村さん

大学1年生の秋、当時4年生だった先輩が日本代表として参加した話を聞いたのがきっかけで、G(irls)20に興味を持ちました。女性・子どもの人権について学びたくて法学部に進んだので、G20参加は大学生活におけるひとつの目標にしていました。

1億人の女性雇用創出がメインテーマ

G(irls)20サミットは、政府首脳のG20サミットに先立って1週間開催されます。サミットのテーマは「2025年までに新たに1億人の女性の雇用を創出するためには？」。G20首脳会議でも話し合われる「移民」「気候変動」「デジタル経済」の3点が今年の焦点となりました。サミット最終日には11時間にわたって議論を重ね、14項目の共同声明を作成し、G20サミットの各国首脳に提言を提出しました。私たちのサミット前に行われたワークショップでは、自分の適性を知るための自己診断、コミュニケーションスキル、リーダーシップ開発、戦略策定、交渉術、共同声明の作成に向けてのプログラムなど、各カテゴリーで専門家を招き、充実した学びの機会になりました。

共同声明の作成時には文化や法律、政治など背景が異なる場合であっても、抱えている課題の本質には国を越えて共通する点が多いと感じました。特にG20首脳に共同声明を提出した後、実際の行動に結びつくかどうかについても重点的に議論しました。

日本の移民政策など提言

私は、日本を代表して「移民女性が仕事上で必要なスキルを修得するためのトレーニング」「自然災害や気候変動から女性を守り、被害にあった女性たちの健康およびメンタルケア」「政策決定プロセスにおける男女平等参画」について、力を入れて発言しました。特に日本の移民対応については、増え続ける難民数に反比例して難民受入数28人（2017年）という事実、世界第5位の移民受け入れ国であるにもかかわらず整っていない協力体制に問題意識を感じていました。当初はビザの流動性について発案しましたが、実際の行動に結びつくかどうか考えたときに、現時点で国内にいる移民の支援を徹底していく提案に決めました。

帰国後には開催国ドイツだけでなく、各国代表が自国のG20リーダーへ共同声明を届けるために奮闘しました。私も藁浦健太郎外務副大臣へ申し入れする機会をいただき「重要な意見だ。（提言実現へ）サポートしたい」との声をいただきました。

教育を柱に高校生の夢実現へ

帰国した今、自国での問題解決のためのプロジェクトを実行することが求められています。私は「高校生の夢応援プロジェクト」を立案しました。サミットの中でパキスタン出身のノーベル平和賞受賞者のマラ・ユスフザイさんの父、ジアウディン・

ユスフザイさんは「高等教育は、子どもたちが羽ばたく翼を授ける場所」と語っていました。日本の教育現場にはジェンダーに基づくステレオタイプが根強く残り、性による差別や偏見をよく見受けられます。また、考えることよりも覚えることを重視する日本の教育の中で、自分の個性や夢を発見することが難しく、教育情報機関の調査によると、大学に進学する日本の高校生の半数は夢を持っていないそうです。このことから、これから社会に出る高校生への「価値創造」のための教育が必要であると感じました。このプロジェクトを通して、ステレオタイプにとらわれず、自分を信じてありのまま生きてほしい。そして、今回、私がサミットで学んだ「根拠のある自信」を持つことの大切さというメッセージを伝えていきます。

今後は、立案したプロジェクトとともに、将来的に日本の教育を変える一端を担えるようにさらに勉強していきます。大学で行っているジェンダー平等を目指した活動にもさらに力を入れてジェンダー平等先進大学にしていきたいです。サミットで出会った22カ国の姉妹たちの絆、そして、いつも惜しみなく応援してくれる家族、友だち、先生方に恩返しができるよう「根拠のある自信」を胸に、失敗を恐れず自分自身の夢実現のために挑戦していきます。

まちづくり・ものづくりコンペティション 2017

23団体が9月9日、明星大学での選考会に出場

第4回「多摩の学生まちづくり・ものづくりコンペティション2017」のエントリーが7月18日に締め切られた。9月9日、明星大学32号館で行われる選考会に「まちづくり」「ものづくり」の部門に10大学・短大・高専から23団体が発表する。

審査委員

〈委員長〉 西浦 定継 明星大学 理工学部総合理工学科 教授 ネットワーク多摩 常務理事	澤岡 詩野 公益社団法人ダイヤ高齢社会研究財団 主任研究員
本多 剛史 多摩市 企画政策部企画課 課長	美藤 文秀 東日本旅客鉄道㈱ 八王子支社総務部 企画室 企画部長
小宮山 克仁 立川市 総合政策部 企画政策課 課長	上野 雅広 日本電気株式会社 西東京支社 マネージャ
石川 健三 福生市 企画財政部 企画調整課 課長	長島 剛 多摩信用金庫 地域連携支援部長
三浦 真 小金井市 企画財政部 企画政策課 課長	伯耆 大介 独立行政法人都市再生機構 東日本賃貸住宅本部 多摩エリア経営部 ストック・ウェルフェア推進課長
田中 善夫 町田市 政策経営部 企画政策課 課長	相良 大介 清水建設株式会社 営業課長
野口 勇 八王子市 市民活動推進部 学園都市文化課 主査	高橋 章浩 京西テクノス株式会社 管理部 人材開発グループ グループ長
仁賀田 宏 日野市 企画部 企画経営課 課長	廣瀬 健太 国営昭和記念公園管理センター 企画グループ マネジャー
高岡 弘光 羽村市 シティプロモーション推進課 課長	大串 結子 特定非営利活動法人 日本ITイノベーション協会 理事
	澤 昌秀 京王電鉄株式会社 戦略推進本部 沿線価値創造部 企画担当課長

まちづくり① スポーツ・観光・文化

創価女子短期大学 水元ゼミ、チームサキとボン

TRAIN-TRAIN-TRAINS
～プロバスケット×学生×八王子＝Newトレインズファミリー～

対象地域：八王子市

ねらい：プロバスケットの魅力発信し、東京オリンピックに向けても八王子、さらに多摩地域が活気づくと期待される。

創価大学 経済学部・勤坂ゼミチームJK

放棄される自転車ゼロのまち・八王子へ
放置と放棄の違いに着目して

対象地域：八王子市

ねらい：回収後、放棄される自転車に注目し、その削減に向けた施策を提案する。

帝京大学 湯川ゼミ教育班

多摩っ子集まれ！！フリスビー教室
スポーツを通じて子どもたちの心身の育成に取り組む

対象地域：多摩市 八王子市

ねらい：スポーツを通じて心身共に健康な子どもたちがあふれるまちにする。

東京経済大学 山本ゼミ、東大和市班

ひがしやまとの食の今昔物語
～多摩の文化を味わい、知ろう！～

対象地域：東大和市

ねらい：多摩(村山地域)の食文化を知ること、粉文化を知らない人々に、より地域への愛着を持ってもらう。

東京経済大学 山本聡ゼミナール、御朱印班

村山×寺×御朱印
～御朱印で地域に愛着を～

対象地域：東村山市

ねらい：村山地域にある寺院で、そこでしか聞けない貴重なその地域の文化や歴史を知り、愛着を持ってもらう。

法政大学 現代福祉学部 水野研究室 M-girls

クリエイティブシティ・八王子
エスコートツアーによる街の魅力発信

対象地域：八王子市

ねらい：「クリエイティブシティ」による八王子市のイメージ刷新。

帝京大学 湯川ゼミ 観光チーム

ふおとたまジェニック
大切な人との「今」を写真に残そう

対象地域：立川市

ねらい：SNSの拡散力を利用して、若者に多摩の魅力を知ってもらう。

創価大学 法学部・チームまちづくりα班

「高齢外国人」の地域参加へのファーストステップ
多文化共生とグローバル社会の架け橋を構築するために

対象地域：八王子市

ねらい：今後顕在化するであろう「高齢外国人問題」を早期に対策することにより高齢外国人の孤立を防ぐ。

中央大学 FLP地域・公共マネジメントプログラム 細野ゼミナール

立川をより魅力的にするために
ららぽーと立川立飛がとるべき戦略
アンケート・ワークショップが示す処方箋

対象地域：立川市

ねらい：商業施設の魅力向上を通して、立川市の活性化につなげる。

まちづくり② 教育・子育て・福祉

亜細亜大学 法学部・平井ゼミ(行政学) 1班

東久留米市民の健康増進
ウォーキングでまちと人を元気に

対象地域：東久留米市

ねらい：市民の健康に対する意識の向上を目指し、健康寿命の長寿化を図る。

亜細亜大学 法学部・平井ゼミ(行政学) 3班

児童館での子供学習塾
学習支援を通じた少子化時代の地域活性化

対象地域：東久留米市

ねらい：東久留米市における、家庭の経済力に依存しない、小学生の学力向上。

実践女子大学 チームトリプルC

持続可能なコミュニティカフェの展開
～人々を巻き込む緩やかなネットワークの構築～

対象地域：日野市

ねらい：無理なく持続できるコミュニティカフェのまちづくりを考える。

選考会に出る学生たちは多摩の活性化を目指して、まちに飛び出してフィールドワークし、さらに多摩地域を元気にするための手法を提言する。観光や文化、スポーツ、教育・子育て・福祉のテーマでデータを収集・分析して提言するプロセスを語りながら魅力づくりを訴える。

今年から設けた「ものづくり」部門では、今注目のIoT(Internet of Things)を利用した生活改善、ロボットを使って生活をサポートする提案、ブルーベリーやミツバチを生かして活性化する方策も発表する。

当日は、明星大学32号館の3会場で行われる。各団体は、持ち時間10分、質疑応答が10分。それぞれ大学教員や企業、行政の実務者が審査に当たる。審査項目は、まちづくり・ものづくりの目的・概要、その効果、アピールポイントなど。優秀な団体は、12月16日、国営昭和記念公園花みどり文化センターで行われる本選に出場する。

審査会は公開であり、だれでも自由に入場(無料)できる。問い合わせは、ネットワーク多摩へ。

創価大学 経営学部・安田ゼミ teamACT

孫CORO

「孫の手も借りたい！」学生による介護のお手伝い

対象地域：八王子市

ねらい：介護者と被介護者双方が介護を通して幸せを感じる町にする。

創価大学 勤坂ゼミ、チームIK

待機児童ゼロを目指して

学生による環境づくり

対象地域：八王子市

ねらい：待機児童問題の原因の一つである保育士数の減少を改善するために、学生による雑務バイトを提案し、保育士の労働環境を改善する。

法政大学 現代福祉学部福祉コミュニティ学科 宮城孝ゼミ

八王子青年協議会の設立に向けて

若者によるまちづくりへの参加とエンパワメント

対象地域：八王子市

ねらい：青年協議会という形で若者がまちづくりに参加できる場を作り、若者のエンパワメント・社会参加の促進を図る。

東京経済大学 神原理ゼミナール Y-3

世代間交流で村山団地を元気に！

生き生きと生活できる地域づくり

対象地域：武蔵村山市

ねらい：高齢者と子どもたちが交流することで団地全体が活性化されることを目指す。

帝京大学 湯川ゼミナール

帝京プログラミング！

～プログラミングで多摩の子どもも改革～

対象地域：多摩市

ねらい：プログラミング必修化に先駆け、子どもたちがプログラミングを学べる場所を提供する。また、需要のある産業で働く際に必要となるスキルの基礎を習得してもらうことで、職業選択の幅を広げたい。

法政大学 現代福祉学部 水野研究室

成熟化した住宅地における「地域の縁側」の創出

空き家・空き地の有効活用によるコミュニティの保全

対象地域：八王子市

ねらい：空き家・空き地の実態と居住世帯の生活上の悩みを踏まえて、「地域の縁側」づくりへとつなげる。



昨年の選考会の様子

ものづくり① 機械・ロボット・ソフト

亜細亜大学 / 東京工業高等専門学校 電子工学科 水戸研究室
 亜細亜大学法学部 平井ゼミ 2班・東京工業高等専門学校

IoT技術の高齢者福祉の応用

工業高専と社会科学大学の連携によるテクノロジーの社会実装

対象地域：東久留米市

ねらい：IoT技術を用いた高齢者の生活改善を促進。

電気通信大学 西野ゼミ

コミュニケーションロボットの開発を通じた地域活性化

話し上手＆聞き上手なロボットによる生活サポート

対象地域：調布市

ねらい：少子高齢化社会における労働力不足や、独居老人の安全・安心な生活サポートに貢献する。

ものづくり② 農業・建築・景観

帝京大学 経済学部・三竝ゼミ

帝京大学発のヨーグルトによる地域活性化を目指して

私たちのヨーグルトで多摩地域をもっと元気にしたい

対象地域：八王子市

ねらい：八王子に立地する帝京大学を中心として進行中の産学連携プロジェクトで開発中のヨーグルトを通じて、多摩地域の企業・団体等とのコラボレーションによる地域振興を提案したい。

法政大学 糸久ゼミ

ブルーベリーが紡ぐ物語

ブルーベリー×ウエディング

対象地域：八王子市

ねらい：農地の活用と継続可能なまちづくり

帝京大学 比佐ゼミ

ミツバチ自然環境保護プロジェクト

ミツバチとの共存

対象地域：八王子市

ねらい：ミツバチが住みやすい街と自然



人と資源をつないで元気な多摩を 奨学生プロジェクト中間発表 8月25日午後、明星大学日野校で

春から活動を続けている多摩未来奨学生4期生の24人は、「健康・福祉・環境」と「教育・文化」「産業・企業」グループに分かれて、多摩地域の魅力アップ作戦と、どのようにすれば多摩地域をさらに元気にできるのか、市役所や企業、施設を訪ねるなどして戦略を練っている。その活動ぶりを8月25日午後1時から明星大学日野校28号館プレゼン室（日野市程久保）で中間発表する。会場に質疑応答もあり、奨学生たちは多くの人たちの入場を待ち望んでいる。

奨学生プロジェクト中間発表

- 開催日 2017年8月25日(金)
- 時間 13時00分～
- 会場 明星大学
28号館プレゼン室
- 入場料 無料
- お申込 ネットワーク多摩HPより
<https://nw-tama.jp/>
- アクセス 多摩モノレール
「中央大学・明星大学
駅」直結

健康・福祉・環境 グループ

お年寄りを元気にしたい

「高齢者に大学生が関わることで多摩地域のお年寄りを元気にしたい」という江田有希さん（中央大学）ら8人が知恵を絞っているのは「健康・福祉・環境」グループ。メンバーが目目しているのは多摩ニュータウン。9万6000人の高齢者が住んでいるといわれ、その人口比は22%（2016年度）。今後、さらに高齢化が進む中、江田さんらは「高齢な方々が積極的に地域に関わって、豊富な知識と経験を役立ててもらうことでご本人も活躍できるはず。それが地域の活性化につなが

る」と見込んでいる。そこに多摩地域の特性である多くの学生がどのように関われるかを探っている。

高齢者自身が何を求めているのか。有料老人施設や介護老人施設を訪ね、実情を見たり聞いたりした。奨学金の寄附協賛企業である京王電鉄でも調査した。多摩市地域包括センターでは同市の現状や課題などを知った。空き家利用も考えるうえでUR都市機構と多摩市、多摩大学が居住促進事業を進めていることを知り、奨学生たちも別路線で継続調査している。

教育・文化 グループ

住みたくなるまち情報発信

「教育・文化」グループの日暮英里佳さん（帝京大学）ら8人は、住宅展示場をキーステーションにして多摩の魅力を発信しようと、メンバーの意見をすり合わせている。

なぜ住宅展示場なのか。日暮さんらの着眼は「住むところを探す人は、住宅展示場に行くでしょう。引越す先の食育、文化財、地域の伝統

行事などを発信することで、「住みたい思い」が湧く」と分析する。

プランするにあたり、実際の住宅展示場を訪ねた。奨学金の寄附協賛企業のキャリア・ママの地域イベントを実地調査もした。今後は、先進事例を参考にしながら、多摩に住んでいる人に多摩を選んだ理由を聞く一方、住宅展示場の使用制限などがあるのか、学園祭でも多摩の魅力を発信できるのではないか、具体策を探っている。

産業・企業 グループ

地元企業と学生の橋渡し

2月に行われた奨学生プロジェクト全体研修会で、「地元には魅力的な企業がたくさんあるが、若者たちは就職しながら」という京西テクノス（奨学金寄附協賛企業）の臼井努社長の講演が気づきになって、「産業・企業」グループの八村美璃（はちむら・みり）さん（中央大学）ら8人は、臼井社長の熱い思いを多摩の若者に伝える意味でも地元の事業所の魅力を探り続けている。

八王子市産業政策課へ出向いた折に八王子市では若年者・女性雇用奨励制度があり、市内の事業者へのサポートや市内の中小企業に就職した若者

に10万円を交付していることを知った。これをきっかけに八王子市以外の多摩地域各市の取り組みを調べた。

ここでグループメンバーが気づいたことは「他の多くの学生は『知る』と『魅力を感じる』の間で揺らいでいるのではないかと。マッチングしよう」と秋口に学生と企業を直接つなげるイベントを構想している。八村さんらは「『働く』ことは『住むこと』『暮らすこと』『生きること』だ。多摩地域の魅力、事業者の魅力のどちらも伝えられるプロジェクトを進め、学生が多摩地域で『生業』をつくるきっかけを提供したい」と真剣に取り組んでいる。

この中間報告の結果を踏まえて、奨学生たちは、コーディネーターの指導を受けてさらに練り、12月に予定している提言発表に臨む。中間報告の会は誰でも入場できる。問い合わせはネットワーク多摩へ。

ネットワーク多摩 役員の担当決まる

このほど、ネットワーク多摩臨時理事会を開き、別表の通り、役員選定を行いました。任期は、理事、監事ともが平成29年6月3日（総会選任時）から平成31年6月の会員総会終結時まで。山根常務理事以外は、非常勤。

役員を退任した佐藤浩二氏（多摩信用金庫会長）、北澤俊和氏（元学生情報センターグループ代表）、田島眞氏（実践女子大学・短期大学学長）は、顧問に就任しました。

新役員（敬称略）	
会長	
小川 哲生	(学)明星学苑副理事長
副会長	
冲永 佳史	(学)帝京大学理事長・帝京大学 学長
酒井正三郎	中央大学総長・学長
清水 庄平	立川市長
八木 敏郎	多摩信用金庫理事長
専務理事	
細野 助博	中央大学教授
担当事業: 全国コンソーシアム・国際交流	
常務理事	
山根 裕	ネットワーク多摩事務局長
担当事業: 人事・総務・経理・広報・学生生活支援・新任大学教員研修	
糸久 正人	法政大学准教授
担当事業: 就職支援・多摩未来創造フォーラム	
筒井 裕	帝京大学准教授
担当事業: 多摩・武蔵野検定	
西浦 定継	明星大学教授
担当事業: 単位互換・まちづくりコンペ・政策スクール	
根本 忠宣	中央大学教授
担当事業: 多摩未来奨学金・政策スクール	
理事	
石阪 丈一	町田市長
石森 孝志	八王子市長
上野 淳	首都大学東京学長
臼井 努	京西テクノス(株)代表取締役社長
小原 芳明	(学)玉川学園理事長・玉川大学学長
軽部 征夫	東京工科大学学長
河田 勝之	(株)学生情報センター専務執行役員
岸上 隆	(公財)東京市町村自治調査会常務理事
城島栄一郎	実践女子大学・短期大学学長
林 英夫	武州工業(株)代表取締役
馬場 善久	創価大学学長
増田 正人	法政大学副学長
三谷 高康	桜美林大学学長
監事	
永尾 俊文	多摩市副市長
仲岡 一紀	京王電鉄(株)常務取締役
八木 隆史	中央大学学事部学事課長

常任幹事会委員（敬称略）	
福原 信広	桜美林大学渉外事業部地域・社会連携室課長
山中 孝一	大妻女子大学多摩事務部地域貢献室長
上原 信幸	実践女子大学学長室部長
小川 仁	首都大学東京学長室長
渡辺 潤	首都大学東京学長室調整担当係長
福島 高善	創価大学理工学部事務室事務長
光森多佳子	玉川大学教育学部教務課長
澤野 雄治	中央大学学事部担当課長
安達 義弘	帝京大学文学部社会学科長
山崎 靖弘	帝京大学国際交流センター課長
三好 公秀	東京工科大学キャリアサポートセンター長
金田 淳一	法政大学多摩事務部次長
滝井 寛	明星大学地域交流センター長
小宮山克仁	立川市総合政策部企画政策課長
本多 剛史	多摩市企画政策部企画課長
山野井寛之	八王子市学園都市文化課長
田中 善夫	町田市政策経営部企画政策課長
安田 真人	京西テクノス(株)常務取締役管理本部長
加藤 洋	(株)学生情報センター学校法人 パートナー本部東日本学校法人営業部長
櫻井 俊樹	京王電鉄(株)取締役戦略促進本部 沿線価値創造部長
長島 剛	多摩信用金庫 地域連携支援部長
林 英徳	武州工業(株)取締役
永尾 昌文	(公財)東京市町村自治調査会総務部長
伯耆 大介	UR都市機構多摩エリア経営部 ストック・ウェルフェア推進課長

7年がかりで全市町村まわり終えた タマケン・ガイドツアー「多摩めぐり30」 合格者が企画から現地ガイドまでこなす

5月21日午後1時過ぎ、タマケン・ガイドツアー「多摩めぐり30」に参加した19人は、奥多摩町の多摩川左岸をくねるように延びる「むかしみち」から対岸に立ちのぼる小川内貯水池（奥多摩湖）の高さ149mのダムに目がくぎ付けになった。ダムが大きい分、深く切れ込んで多摩川が細いひものようだった。この日は、「多摩めぐり30」の30市町村目で、参加者の思いはひとしお。ガイドツアーのスタートから7年がかりだった。延べ参加者は約850人に及んだ。

当初の専門家のガイドがお手本

ネットワーク多摩は、地域への愛着を育み、まちづくりのリーダーを醸成しようと2008年に「知のミュージアム 多摩・武蔵野検定」を立ち上げた。その3年後、テキストや参考書だけで学ぶのではなく、地形や草花をはじめ、歴史や文化のいわれがある現場に出向いて楽しく学ぼうと「多摩めぐり30」を始めた。

第1回目は小金井市。4月、桜が満開だった。これより1ヶ月ほど前、東日本大震災が発生して、その余震がある中での

開催だった。犬養毅が名付けた滄浪泉園や江戸時代に全国屈指の桜の名所だった玉川上水堤、下村湖人が書いた小説「次郎物語」を生んだ旧浴恩館などを同市文化財担当でタマケン学術委員の伊藤富治夫さんに終日、案内していただいた。

当初のガイドは、各市の文化財担当や博物館・郷土資料館の館長や学芸員など専門家をお願いした。2級や1級の合格者の参加もあり、事務局ではこの人たちにはいずれガイドに育ててもらいたいという願望があり、専門家の解説ぶりをお手本にした。

合格者有志が事務局支援グループ結成

初年度は6回、2年目の12年度から14年度まで毎年4回開催した。複数回行った市もある。回を重ねるにしたがって参加者同士が顔なじみになり、和やかさが増した。

合格者で、この「多摩めぐり30」に参加してきた菊池等さん（青梅市）や井上務さん（青梅市）が地元をガイドしたことが他の参加者に好影響を与えた。残る13市町村になった15年度に強力な助っ人が現れた。菊池さんらは「事務局



小川内貯水池建設に使われた鉄道跡を見上げる参加者たち＝2017年5月21日、奥多摩町



そば店主・浅田修平さんに深大寺とそばにまつわる歴史と魯山人の足跡を聞いた＝2016年9月18日、調布市



多摩川決壊現場に建てられた「決壊の碑」の前で当時の様子を聞いた＝2016年7月17日、狛江市



春風をよんだように咲いていたカタクリ＝2016年3月20日、瑞穂町

たまためぐり30 最近の10回の様子

第26回 **武蔵村山市** 2015.11.15

村山党の里・天明打ち壊しの勃発地
～食の祭典、ミカン狩りも楽しむ

コース 眞福寺-六ツ指地藏堂-赤堀トンネル-横田トンネル-村山織物協同組合-長円寺-十二所神社-下田園(ミカン狩り)-赤稲荷-宿の薬師堂-軽便鉄道跡-採石場跡-送水空気孔

第28回 **三鷹市** 2016.4.23

古墳時代から江戸・明治・大正・昭和の鼓動を感じる三鷹市を歩く

コース 三鷹駅・三鷹事件・玉川上水-品川用水-中央通り文学碑-禅林寺-鷹場標石-深大寺用水-吉野家 鷹場標石-国立天文台-ハケ上散策-野川・新車・峰岸家住宅-ほたるの里・出山横穴墓群8号墓-龍源寺・近藤勇墓・穴仏-近藤勇生家跡-撥雲館・野川公園

第27回 **瑞穂町** 2016.3.20

カタクリと街道が伝える武人や庶民の願いを見る
～歴史と観光編の「瑞穂町ふるさと図鑑」発刊記念

コース 加藤塚-狭山神社・茶葉の碑-かたくりの花-狭山池-円福寺-日光街道-江戸街道-吉野岳地藏堂-一本榎-村山土佐守義満の像-正福寺・たらようの古木・村山党一族の墓-神明神社・1000年櫓

第29回 **日の出町** 2016.6.5

山里を彩るヒメザゼンソウや動物たち
～貯水池計画消えた集落の暮らしに触れる

コース 幸神社-武蔵岩井駅跡-新井薬師堂-黒漆喰の三階蔵-伊奈沢天神社-八幡神社-春日神社-常福寺-保泉院

で企画し、資料作りをし、実施している『多摩めぐり30』を合格者の意のある人たちで事務局を支援しよう」と声を上げた。13人が手を挙げて「タマケン・サポーターズ」と名づけた会を立ち上げて、それぞれ縁がある地域を企画から実施まで進めるようになった。

15年度は8回、16年度は7回開催。今年に入って4月に檜原村、5月の奥多摩町で完結した。

故郷と檜原のつながりを知った

菊池さんは言う。「初めてのガイドの時は、不安がいっぱいの中でコース設定、下見を数回して新たな発見があり、文化財などの調査と資料作りをしながら再認識したことも多い。毎日が勉強で、参加者に助けられたことも数知れない。まだまだ知らない多摩がある」

初回に参加し、ガイドをするようになった前田けい子さん（八王子市）。「青梅市の勝沼城跡に立ち、眺めた街に戦乱の時が浮かんでくるような不思議な気がしたのを覚えている。時が止まったような静かさを感じた檜原村では、故郷山梨と縁があることを知った。檜原のジャガイモの『およねつりも（およねつるいも）』は、上野原から数馬に嫁いできたおよねさんが持ってきたものだそうだ。この『つる』は、私の故郷である都留市（南都留地方）から伝わった種いもだと知って感動した」

訪ねた先で地元の情報が聞ける

味藤圭司さん（武蔵野市）もガイドの面白さを知った一人。「訪ねた先の地元の人にその土地に関する話を聞くコーナーは多摩めぐりの最大の特徴。単にモノを観るだけでなく、ガイドブックに書かれていない、現地ならではの情報を何度も聞いた。各地で行われるまち歩きとは一味違う」。檜原・春日神社で吉野一成さんから神社総代3人に「御とう神事」を解説してもらった。味藤さんは「米がとれない山間の地で村人の白米に対する強い思いに感動した。年に一度だけ村の人が一堂に会して神前でいただく白米の意味は、人々の結束を生み、自然に対する敬意でもあるように感じた」と語る。

多摩めぐりの完結が見えた昨秋、新たな企画「多摩めぐり30プラス」と名を変えて、サポーターズのメンバーが中心になって展開することにした。行政域を超えてテーマを重視したツアーだ。「多摩めぐり30」の終結前にスタートしたのは、メンバーの熱い思いと季節をやり過ぎせなかったからだ。多摩丘陵に迫った4回目の7月1日、八王子市鎌水を中心に「絹の道と鎌水商人の里」を訪ねた。ここでも地元の石井歳男さんらに鎌水商人の歴史を中心に話を聞いた。石井さんは、地元の人たちで編んだ郷土史の本「ふるさと鎌水」に携わった。多摩の素顔を求める多摩めぐりは、まだまだ続く。

第30回 狛江市 2016.7.17

土器と古墳と日本開港碑にみる狛江の新風

コース 福徳弁財天-古民家園-兜塚古墳-伊豆美神社-万葉歌碑-六郷用水取水口-多摩川決壊の碑-土屋塚古墳-亀塚古墳-龍泉寺-和泉土器碑-狛江駅

第32回 小平市 2016.10.22

青梅街道、玉川上水、新田開発……拓ける小平の足跡をみる～平櫛田中翁の作品づくりの心を聞く

コース 熊野宮-平安院-一橋学園駅-平櫛田中彫刻美術館-小平水衛所-(上鈴木)稲荷神社-ふれあい下水道館-小川寺-小平神明宮-竹内家大ケヤキ

第34回 檜原村 2017.4.22

国立公園内の東京唯一の村 檜原村民が紡いだ伝統行事と東京の木の文化を観る

コース 本宿役場前-払沢の滝-春日神社-吉祥寺-橋橋-口留番所跡-村営ミニスーパー「かあべえ屋」-檜原地域交流センター

第31回 調布市 2016.9.18

甲州街道布田五宿と多摩川と深大寺と映画と

コース 甲州街道-布田五宿-天神通り商店街-鬼太郎と仲間たち-布多天神社-虎狛神社-深大寺自然広場-青渭神社-深大寺城跡-映画俳優の碑-調布・映画発祥の碑-二ヶ領上河原堰堤-府中用水-上布田遺跡-下布田遺跡-狐塚遺跡-椿地蔵

第33回 東大和市 2016.11.5

都内最古の社殿、江戸を支えた青梅街道、戦禍に遭った変電所～悲喜こもごもの狭山丘陵の里をたどる

コース 玉川上水小平監視所-米軍東大和基地跡の碑-旧日立航空機変電所跡-空堀川-蔵敷農兵訓練所跡-蔵敷庚申塚-蔵敷高札場跡-豊鹿島神社

第35回 奥多摩町 2017.5.21

薪炭など物産の交易路に供養物や先人の心表す碑 ～新緑映える断崖絶壁、多摩川左岸の「むかしみち」を歩く

コース 奥氷川神社-不動の滝-白髭神社-弁慶の腕ぬき岩-しだくら吊橋-馬の水飲み場-西久保の切り替えし-水根-奥多摩湖

今後のガイドツアー 「多摩めぐり30プラス」

- 9月17日（日）多摩丘陵～町田市・小野路の鎌倉街道を行く
- 10月29日（日）井の頭恩賜公園開園100周年～湧水と日本初の郊外型公園
- 11月12日（日）多摩丘陵～小野神社の秘仏、稲荷塚古墳、関戸古戦場を訪ねる
- 12月2日（土）多摩丘陵～稲城市でチョウゲンボウを観る・聞く

加盟機関
夏季期間**プールアルバイト募集**
国営昭和記念公園

9月3日まで営業している国営昭和記念公園・レインボープールでチケット販売・プール事務所業務のアルバイトができる高校生以上、60歳未満の人を募集している。

チケット販売業務は、入園ゲートにおけるプールや公園のチケット販売、接客案内全般。勤務時間は9時～17時の間で1日4時間以上働ける人。希望の勤務時間に応じる。

プール事務所業務はチケット改札、浮き輪・ボートのレンタル業務、プライベートビレッジの料金徴収、昭和 management 棟管理業務。勤務時間は8時45分～17時15分(19時終園の場合、残業あり)早出、残業、早上がりもある。

いずれも時給は935円(交通費は、定期券利用区間を除いて別途支給)。制服の貸与あり。応募は☎042-528-7005同公園管理センター採用担当へ。

加盟機関

**花や葉で飾る「インフィオラータ
世界紹介展」作品募集**
国営昭和記念公園

国営昭和記念公園は、「黄葉・紅葉まつり」の一環で11月11日から19日まで、同公園メインゲートの立川口に展示する「インフィオラータ 世界紹介展」に展示する作品を募集している。



インフィオラータは、花びらだけでなく、黄色く色づいた葉や木の実を使用して地面に敷き詰めて表現する絵画作品。デザインコンセプトは在日の外国人が自分の国もしくは地域を紹介すること。1作品の中に複数の国もしくは地域を紹介しても可。募集する作品の大きさは1.8m×1.8m。5点を募集する(1点1チーム5人程度)。デザイン締め切りは10月14日。作品制作は11月11日。制作チームに実費2万円を支給。参加賞として同公園パーベキューガーデンのランチ券を10人分進呈。応募多数の場合、抽選。制作チーム決定後、デザインについての説明会が行われる。

応募は氏名、所属学校または会社、出身国(地域)、性別、年齢、描きたい内容を国営昭和記念公園管理センター・インフィオラータ実行係(☎042-528-1868、E-mail:showa-infiorata@seibu-la.co.jp)へ。

事務局
8月14日
～18日**ネットワーク多摩 夏季休暇**
8月14日(月)～18日(金)事務局
11月19日**タマケン受検者募集中！ 2017年11月19日(日)、明星大学で会場試験**
多摩を知れば知るほど面白くなる

2008年度から実施しているタマケンは、地元の自然や地理、歴史、文化、産業といった生活周辺にある事柄を出題。これまでの受検者は約4000人、受検者の多くは「多摩のことを知っているつもりでいたが、知らないことがいかに多かったか気づいた」と感想を語っています。新入社員・職員研修に生かす企業も増えています。学生の就職面談にも役立つでしょう。ぜひこの機会に多摩を学んでみませんか？

級	検定料(税込)	試験時間	問題数	合格基準	試験開始時刻
ジュニア級	1,080円	30分	25問	3段階評価	午前11時00分
マスター4級	1,080円	60分	50問	60点以上	午後2時00分
マスター3級	3,240円	90分	100問	70点以上	午前11時00分
マスター2級	4,320円	90分	100問	70点以上	午後2時00分
マスター1級	5,400円	90分	43問前後	70点以上	午後2時00分

マスター1級受検は、マスター2級合格者に限る。

団体割引・併願割引

10人以上の団体受検は、受検料総額の10%引き。
併願受検は合計金額の540円引き。

- ①ジュニア級+マスター4級
- ②マスター4級+マスター3級
- ③マスター3級+マスター2級

**知のミュージアム多摩・武蔵野検定
2017年度検定試験**

日時 2017年11月19日(日)

会場 明星大学 日野キャンパス23号館

お申込 タマケンホームページ
<http://www.tamakentei.jp/>
またはタマケン事務局へ郵送で。

お支払 多摩信用金庫本支店またはゆうちょ銀行。またはコンビニ支払い。申し込み締め切りは2017年10月17日。

詳しくはタマケンホームページ、または☎042-591-8540
タマケン事務局へご連絡ください。事務局
8月25日**平成29年度第3回常任幹事会**

8月25日(金)11時から明星大学28号館
プレゼン室で。

事務局
8月29日**第1回留学生国際センターネットワーク開催**

近年、日本で学ぶ外国人留学生が増加傾向にあり、平成28年度は24万人弱いました。ネットワーク多摩の複数の加盟大学でも多くの外国人留学生が通学しており、担当職員が携わる業務は多岐に渡っています。留学生国際センターネットワークは、外国人留学生に関する各種業務に携わっている担当者がお互いに情報交換して、外国人留学生のより良い環境を整えられるように連携して課題解決することを目指します。開催は8月29日(火)15時30分～。参加申し込みは8月23日(水)までにネットワーク多摩へ。

事務局
8月25日**大学・企業部会**

8月25日(金)12時から明星大学
28号館プレゼン室で。